



日野観光協会ホームページから



日野観光協会は今年で3回目となる「秋の日野をめぐるデジタルスタンプラリー」を10月1日(火)から開催します。毎年、日野の魅力をお伝えすべく観光スポットを設定しています。会場は日野町全域、今年は「芸術の秋」「行楽の秋」「紅葉の秋」「味覚の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」と日野町のさまざまな秋をめぐっていただきます。17カ所のスポットから8カ所以上のスタンプを獲得していただくと、抽選

■ 日野をめぐるデジタルスタンプラリー 「芸術の秋」スポット充実



で近江日野牛やクラフトビールなど、日野町の特産品が当たります。今回、特にご紹介したいスポットは「芸術の秋」から、高田敬輔により信楽院本堂の天井に描かれた雲龍図です。近江日野商人の家に生まれた高田敬輔は絵師として活躍し、町内には山水画、人物画、仏画など敬

輔の優れた作品が残っています。その中でも代表作が晩年70歳に描いた信楽院本堂の天井画です。特に豪快な筆のタッチで描かれている雲龍図は迫力があり見るものを圧倒させます。是非、お立ち寄りください。日野町には他にも雲龍図があります。今年は辰年。平和堂と協力して5面の雲

龍図をめぐると、11月10日(日)に開催します。こちらもぜひ、ご参加ください。詳細はQRコードから。近江日野商人ふさと館では、高田敬輔作「龍虎図」「富岳図」を含む館蔵の絵画を展示、近江日野商人館では塩川文麟作「富士



山図」を展示します。塩川文麟は幕末の平安四名家の一人。京の世情も慌ただしくなった安政5年(1858年)から万延元年(1860年)まで、喧騒の京を離れ日野に滞在していました。秋の日野町は「芸術の秋」スポットが充実しています。



⑤ 迫力ある信楽院の雲龍図
⑥ 行楽の秋はブルーメの丘へ
いずれも日野観光協会提供



これまでの「しが旅のスズメ」はこちらから

【アクセス情報】新名神高速道路甲賀土山ICより約20分、名神高速道路八日市ICより約20分

「芸術の秋」「行楽の秋」「紅葉の秋」「味覚の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」、それぞれ魅力あるスポットを集めたデジタルスタンプラリー。日野町をゆつくり散策してください。(日野観光協会 池内明彦)